

**平成27年度
長崎市重点化方針**

**平成27年6月
長崎市**

平成27年度長崎市重点化方針について

「平成27年度長崎市重点化方針」は、長崎市第四次総合計画を推進し、めざすべき将来の都市像の実現に向けて、平成27年度において長崎市がめざす目標とその達成のために重点的に取り組む戦略を定めたものです。

組織横断的に取り組むべき「重点プロジェクト」については、各局長・政策監において戦略をもって着実な推進を図ることとしており、また、各部局等においては、それぞれ定めた重点的取組みに基づき、各事業に取り組むこととしています。

なお、平成27年度においては、次の基本的な考え方のもとで予算編成を行っています。

平成27年度予算編成にあたっての基本的な考え方(抜粋)

1 めざす姿を確認しよう

第四次総合計画の中で将来の都市像を『個性輝く“世界都市”』、『希望あふれる“人間都市”』とし、「つながりと創造」というまちづくりの基本姿勢のもとに実現していこうとしている。

2 現状と課題を知ろう

現状を正確に把握し、分析することが、重要であり、有効な対策を考えるスタートとなる。まず、現場に足を運び、市民が困っていることや望んでいることを知ることから始める。

3 予算編成の着眼点

限りある財源・人員体制の中では、想定される全ての事業を行うことは困難であり、「選択と集中」が必要となる。また、新たな事業展開を考えるときには、既存事業の積極的な見直し(廃止・縮小・統合)を併せて検討し、事業実施に必要な財源や人的余力を生み出す努力も必要となる。

各部局が将来の都市像をしっかりと見据え、予算編成の「目的」、「目標」及び「手段」の明確化と部局内での共有化を図り、「なぜこの事業を行うのか、いつまでに、どのような状態にしたいのかなどの考え方を市民にわかりやすく説明できる」ようにする。

これまでのやり方や考え方などの前例にとらわれることなく、市民起点の発想を大胆に取り入れ、どうすればもっと良くなるか、もっと効果をあげられるかをしっかり考える。

(1) 「人口減少問題」を強く意識した取組みを進める

「人口減少問題」が全庁をあげて重点的に対応しなければならない喫緊の課題であることを強く意識し、従来の手法や考え方に止まらない総合的視点からの予算編成を行う。

国においても、地方創生を担当する大臣が新設されるとともに、「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、地方創生大臣は、地域の特色に応じた人口減少対策や地域経済活性化策を進める考えを強調し、自発的な取組みを行う自治体を支援する意向を示している。今後の国の動向に関する情報収集に努めるとともに、活用可能な支援制度については積極的に活用し、新たな財源の確保に努める。

(2) 「今、何に重点を置くべきか」の方針を部局内で共有する

各部局の「重点的取組み」をもとに、各部局長が部内の職員に対し、「今、何に重点を置くべきか」という部局のめざすべき方針を明確に示し、また、「重点的に取り組むべき課題を、いつまでに、どのような状態にするのか、そのために平成27年度は何をすべきなのか」を共有する。

(3) 重点プロジェクトを推進し確実に成果をあげる

将来の都市像へ向けて、特に進化が必要な分野として、「経済」「まちの形」「まちを支える仕組み」を掲げている。13の重点プロジェクトは、この3つの分野の進化を実現するために、集中的に取り組むべきものとして具体化したものであり、その具体的な成果を示す時期にきている。各プロジェクトの責任者である局長・政策監を中心に、部局横断的な連携を強化し、成果の見える化に取り組む。

目 次

ページ

● 将来の都市像・まちづくりの基本姿勢	1
◆ 重点テーマ1 個性を活かした交流の拡大	2
◇ 重点テーマ2 平和の発信と世界への貢献	3
◆ 重点テーマ3 地域経済の活力の創造	3
◇ 重点テーマ4 環境との調和	4
◆ 重点テーマ5 安全・安心で快適な暮らしの実現	4
◇ 重点テーマ6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現	5
◆ 重点テーマ7 創造的で豊かな心の育成	6
◇ 重点テーマ8 多様な主体による地域経営	6
● 重点プロジェクト	7
◆ 1 行政サテライト機能再編成プロジェクト	8
◇ 2 市庁舎建設プロジェクト	9
◆ 3 世界遺産推進プロジェクト	10
◇ 4 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト	12
◆ 5 長く元気で！プロジェクト	13
◇ 6 国際観光客誘致プロジェクト	14
◆ 7 長崎サミットプロジェクト	15
◇ 8 まちぶらプロジェクト	16
◆ 9 都市再生プロジェクト	19
◇ 10 出島表門橋架橋プロジェクト	20
◆ 11 市役所カナルプロジェクト	21
◇ 12 地域振興プロジェクト	22
◆ 13 公共施設マネジメント推進プロジェクト	23
● 主な部局等の重点的取組み	
◆ 防災危機管理室	24
◇ 企画財政部	25
◆ 総務部	26
◇ 理財部	27
◆ 市民生活部	28
◇ 原爆被爆対策部	30
◆ 福祉部	32
◇ 市民健康部	34
◆ こども部	35
◇ 環境部	36
◆ 商工部	38
◇ 文化観光部	40
◆ 水産農林部	43
◇ 土木部	44
◆ 都市計画部	45
◇ 建築部	46
◆ 消防局	47
◇ 上下水道局	48
◆ 教育委員会	50

将来の都市像・まちづくりの基本姿勢 ～基本構想・前期基本計画～

「基本構想」では、これからの10年間（平成23～32年度）においてめざす将来の都市像やまちづくりの基本姿勢を定め、「前期基本計画」では、これからの5年間（平成23～27年度）において将来の都市像を実現するための8つの重点テーマを定めています。
平成27年度においても、将来の都市像の実現に向け、重点テーマごとに掲げる各種施策や事業に積極的に取り組むこととしています。

まちづくりの基本姿勢

つながりと創造で
新しい長崎へ

将来の都市像

個性輝く世界都市
希望あふれる人間都市

重点テーマ 1 個性を活かした交流の拡大

重点テーマ 2 平和の発信と世界への貢献

重点テーマ 3 地域経済の活力の創造

重点テーマ 4 環境との調和

重点テーマ 5 安全・安心で快適な暮らしの実現

重点テーマ 6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

重点テーマ 7 創造的で豊かな心の育成

重点テーマ 8 多様な主体による地域経営

重点テーマ 1 個性を活かした交流の拡大

まちづくりの方針A 私たちは「住む人が誇り、だれもが訪れたいまち」をめざします

長崎独自の文化や歴史に彩られた様々な魅力を磨き、活かし、伝えることで、世界の人々が訪れたいまちをめざし、交流の拡大に向けた取組みを進めます。

平成27年度の主な取組み

- 世界遺産の登録に向けた取組み
 - ・「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の平成27年の世界遺産登録を見据え、構成資産を保全し価値を後世に伝えるための調査や整備活用計画の策定
 - ・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の平成28年の世界遺産登録に向けたイコモス現地調査への対応
 - ・2つの世界遺産候補の価値や魅力の発信と来訪者の受入れ態勢の構築（長崎駅周辺へのインフォメーション施設の設置、世界遺産価値や交通アクセスを紹介するガイドブックの製作など）
- 夜景観光の推進
 - ・長崎ロープウェイの耐震化やバリアフリー工事など
 - ・稲佐山山頂電波塔のライトアップの実施
- 平成28年JRデスティネーションキャンペーン開催に向けた取組み
- 「長崎さるくキャンペーン」の推進
- 国際クルーズ客船の入出港時のおもてなしや受入れ態勢の整備
- 外国人観光客受入環境の向上のため、公衆無線LAN等の整備
- 「歴史的風致維持向上計画」の策定準備
- 長崎駅西側の交流拠点施設用地の効果的な活用方策の検討
- 出島の整備
 - ・6棟の建造物復元、表門橋架橋及び対岸の中島川公園の整備
 - ・「出島保存管理計画」の策定
- 長崎市中央部の整備
 - ・長崎駅周辺の整備（市道の拡幅、岩原川周辺の歩行環境整備）
 - ・松が枝国際観光ふ頭の2バス化に向けた国や県との連携
- まちなかの取組み（「まちぶらプロジェクト」の推進）
 - <新大工エリア>
 - ・新大工町地区の再開発事業
 - <中島川・寺町・丸山エリア>
 - ・町家の保存活用や回遊路の整備、「あじさいチャレンジ」など
 - <浜んまち・銅座エリア>
 - ・浜町地区の再開発事業、銅座川プロムナードの整備など
 - <館内・新地エリア>
 - ・唐人屋敷顕在化、湊公園トイレの整備
 - <東山手・南山手エリア>
 - ・旧長崎英国領事館の保存修理、旧グラバー住宅の保存修理に向けた耐震診断業務、「ばらチャレンジ」など
 - <軸づくり>
 - ・誘導サインの設置など
 - <地域力によるまちづくり>
 - ・市民等の取組みへの支援、若手等人材育成のためのサポート実施など
- 「歴史の学校」の開設
- 游学のまちづくりの推進
 - ・大学生による地元企業の魅力を紹介するパンフレット作成
- 「ながさき移住体験施設」の整備
- 合併地区のまちづくり（軍艦島が見える丘の整備、田の子地区の交流拠点の再整備、地域おこし協力隊の起業・定住に向けた支援）

重点テーマ 2 平和の発信と世界への貢献

まちづくりの方針B 私たちは「平和を願い、求め、つくるまち」をめざします

被爆者の高齢化が進み、被爆体験を直接聞くことが難しくなるなか、被爆の実相を継承していくことは喫緊の課題です。また、核兵器廃絶に向け、被爆都市長崎からの平和の発信をより高めていく必要があることから、これらの課題解決に向けた取組みを進めます。

平成27年度の主な取組み

- 被爆の実相の継承
 - ・原爆資料館の施設整備、外国人観光客の受入れ態勢の整備
 - ・米国国立公文書館での原爆資料の調査・収集
 - ・長崎原爆遺構の文化財指定に向けた取組み
- 平和の発信
 - ・核不拡散条約（NPT）再検討会議におけるアピール活動や被爆者等の訪問団の活動支援など
 - ・バグウォッシュ会議世界大会の開催
 - ・世界こども平和会議の開催
- 被爆70周年記念事業の実施
- 姉妹都市提携60周年となるアメリカ・セントポール市への公式訪問団の派遣

重点テーマ 3 地域経済の活力の創造

まちづくりの方針C 私たちは「活力に満ち、発展し続けるまち」をめざします

長崎サミットをはじめとした産学官金の連携を強化し、製造業の競争力強化、創業・新分野進出の支援、企業誘致の積極的推進など、外貨の獲得を図り、雇用の拡大と所得の向上による経済成長の実現をめざします。

平成27年度の主な取組み

- 造船業の競争力強化
 - ・「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」の推進
 - ・海洋再生エネルギー関連産業への進出
 - ・長崎港活性化センターによる集荷活動の強化
- 企業の魅力を発信する番組制作、放映等の実施
- U・I・Jターンの就職促進
 - ・県外での合同企業面談会へ出展する企業への参加経費の一部助成
 - ・首都圏や福岡都市圏の大学等への合同企業面談会や就職情報の提供
- 企業誘致に向けた立地用地の整備
- HACCP（ハサップ）認証取得の支援
- 商業の振興
 - ・「中心市街地活性化基本計画」に基づく、推進団体の運営支援や人材育成
- 中央卸売市場の開設40周年の記念事業（市民大感謝祭）の開催
- 農水産物の販売促進
 - ・「魚の美味しいまち長崎プロジェクト」の推進
 - ・クロマグロー貫生産の可能性の検討
 - ・「なつたより」と「長崎和牛・出島ばらいろ」の新たな販路拡大や知名度向上に向けた取組み
- 「人・農地プラン」の推進に向けたモデル地区における整備計画の策定
- 「水産振興計画」の策定

重点テーマ 4 環境との調和

まちづくりの方針D 私たちは「環境と調和する潤いのあるまち」をめざします

環境と調和する潤いのあるまちをめざし、環境負荷の少ない持続可能な魅力ある故郷を、次の世代へ引き継ぐための取組みを進めます。

平成27年度の主な取組み

- 再生可能エネルギーの導入促進
 - ・防災拠点となる一部の施設への太陽光発電設備や蓄電池の整備など
 - ・「ながさきソーラーネットプロジェクト」による売電利益を市民に還元するための「ながさきエコライフ基金」の設置
- 省エネルギーの推進
 - ・市有街路灯のLED灯への転換
- 循環型社会の形成
 - ・市有林の間伐材の活用
 - ・西工場の建替え

重点テーマ 5 安全・安心で快適な暮らしの実現

まちづくりの方針E 私たちは「安全・安心で快適に暮らせるまち」をめざします

だれもが安全で安心して暮らすことができるとともに、地域ごとに都市機能が適正に集約されたまとまりの良い快適なまちとなるよう、暮らしやすさを充実させる取組みを進めます。

平成27年度の主な取組み

- 地域における防災力の向上
 - ・市民防災リーダーの地域防災マップづくり等への参加
 - ・自主防災組織と避難所勤務要員が連携した試験的な開設・運営の取組み
 - ・消防団員の入団促進や消防団の災害用資機材の整備
 - ・北消防署滑石出張所の移転建替え
- 暮らしやすいまちの形成
 - ・「都市計画マスタープラン」の改訂
 - ・耐震診断の実施が義務化された病院、店舗等に対する耐震診断費や耐震改修設計費の助成
 - ・大園団地3期の建設
 - ・本河内団地の建替え及び新戸町団地の全面的な改修工事
 - ・「住宅リフォーム緊急支援事業」の拡充
- 道路の整備
 - ・「車みち」整備の拡大
 - ・滑石横尾線の交差点改良
- 公園の整備
 - ・魅力ある視点場に向けた銅冠山公園展望台の整備
- 上下水道事業の普及促進や老朽化した施設の計画的更新

重点テーマ 6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

まちづくりの方針F 私たちは「人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」をめざします

子どもや高齢者などを地域で見守る仕組みづくりをはじめ、だれもが、社会とつながり支え合い、心身ともに健康で安心して暮らせるまちをめざし、きめ細やかな取組みを進めます。

平成27年度の主な取組み

- 高齢者施策の推進
 - ・地域包括支援センターを中心とした多職種連携やネットワーク化などによる支援体制の構築
 - ・「認知症カフェ」の開設
 - ・介護事業所等と電子メールを活用したネットワークの構築
 - ・「第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック長崎 2016）」の開催準備
 - ・野母崎診療所を活用した地域密着型特別養護老人ホームの整備
 - ・心身機能の低下により防火等の配慮が必要な高齢者等への支援（火災発生をブザーで屋外に知らせることができる警報機の設置）
- 障害者施策の推進
 - ・共同生活援助事業所の整備
 - ・就労相談・雇用開拓による就労支援
 - ・授産製品の販売促進
 - ・障害者就労施設等からの物品等の優先調達の推進
 - ・障害福祉センターにおける療育支援体制の強化
- 子育て支援施策の推進
 - ・保育所待機児童解消に向けた保育の量の確保
 - ・多子世帯等の保育料見直しによる保護者負担の軽減
 - ・乳幼児を対象としている医療費助成について小学生までの拡大に向けた準備
 - ・放課後児童クラブにおける小学校の余裕教室等の活用による量の確保や運営支援の拡充
- 被爆者援護施策の推進
 - ・原爆症認定制度の改善
 - ・「長崎市原子爆弾放射線影響研究会」の活用による援護施策の充実
 - ・長崎原爆病院の建替えに対する支援
- 生活保護等に関する取組み
 - ・生活支援相談センターにおける自立に向けた相談支援、就労支援、家計管理の支援の実施
 - ・生活保護受給者世帯の子どもの学習支援
 - ・生活保護受給者の就労支援
- 健康づくり施策の支援
 - ・「胃がんリスク健診」の導入
 - ・ノルディックウォークの普及啓発やセカンドライフガイドブックの作成
- もみじ谷葬斎場の火葬場予約システムの構築

重点テーマ 7 創造的で豊かな心の育成

まちづくりの方針G 私たちは「豊かな心を育むまち」をめざします

社会状況が変化するなか、次代を生きぬく子どもには、「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力を育むことが肝要であるとの認識のもと、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協力することにより、子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばすための取組みを進めます。

平成27年度の主な取組み

- 学校教育の充実
 - ・幼・保・小が連携した「あ・は・は運動」の推進
 - ・「スクールソーシャルワーカー」の配置
 - ・学校図書館司書の増員（36人→43人）
 - ・基礎学力の定着に向けた放課後等における学習を支援する「長崎寺小屋事業」の推進
- 国際理解教育の推進
 - ・ALTが作成した独自の英語教材の活用
- 情報教育の推進
 - ・デジタル教科書の整備やすべての小学校へのタブレット端末の整備
 - ・携帯電話等の利用を定めた「メディア利用の共通ルール」の定着促進
- 教育環境の整備
 - ・改築や廃止等を予定している建物を除くすべての小中学校の耐震化の完了
 - ・屋内運動場の吊り天井等の非構造部材の落下防止対策
 - ・佐古小学校と仁田小学校の統廃合に伴う新設校の建設に向けた基本実施設計
 - ・伊良林小学校の建替えに向けた改築方法の検討・設計
 - ・犯罪の抑止や事件発生時の迅速な解決につなげるため、小・中学校への防犯カメラの設置
 - ・経年劣化している科学館の天体望遠鏡の更新
- 「ラグビーワールドカップ2019」「東京オリンピック・パラリンピック」のキャンプ地の誘致

重点テーマ 8 多様な主体による地域経営

まちづくりの方針H 基本構想の推進（つながる+創造する）

地域は、その成り立ちや地理的条件などに応じ、現状や課題が様々であることから、地域が自ら課題を解決する力を高められるよう支援するとともに、地域の住民や団体の皆さん一人ひとりが地域のプレイヤーとして、「自分たちのまちは自分たちでよくする」仕組みづくりに向けて着実に取り組みます。

平成27年度の主な取組み

- 地域の成り立ちや地理的条件による様々な特性にあった地域づくり
 - ・「地域円卓会議」の自主的かつ継続的な開催に向けた「わがまちみらい工房」の開催支援
 - ・多様な主体の連携・協力による自立した地域運営に必要な知識・スキル等の習得支援
- 自治会の活性化
 - ・同じ課題を抱える自治会ごとの情報交換会の開催や地域に出向く出前相談や先進的な取組みの周知
 - ・自治会への広報ながさき等配布謝礼金の増額
 - ・地域活動拠点の整備促進のため、自治会集会所建設奨励費補助金の増額
- 「自治基本条例」の制定
- 平成28年度から平成32年度までを計画期間とする「第四次総合計画後期基本計画」の策定
- 行財政改革の推進
- 自主財源の確保
 - ・未利用市有地の売却や一時貸付けの推進
- 「公共施設マネジメント」の推進
 - ・モデルプランの作成及び実践の取組み
 - ・地区ごとの施設の再配置計画となる「地区別計画」及び個別施設の保全や長期修繕の年次プランを示す「施設別計画」の策定
- 支所及び行政センターが地域のまちづくりを支援し、身近な手続きや相談窓口となるよう、本庁も含めた機能再編成の具体案の作成
- マイナンバー制度を活用した各種手続きの簡素化
- 長崎市版の「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定

重点プロジェクト

基本構想・前期基本計画を推進するため、組織横断的な重点プロジェクトを定め、4人の局長兼政策監と1人の専任政策監を配置し、スピーディーで着実な推進を図ることとしています。

総務局長兼政策監

1 行政サテライト機能再編成プロジェクト

2 市庁舎建設プロジェクト

3 世界遺産推進プロジェクト

市民局長兼政策監

4 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト

5 長く元気で！プロジェクト

経済局長兼政策監

6 国際観光客誘致プロジェクト

7 長崎サミットプロジェクト

建設局長兼政策監

8 まちぶらプロジェクト

9 都市再生プロジェクト

10 出島表門橋架橋プロジェクト

政策監（専任）

11 市役所カウルプロジェクト

12 地域振興プロジェクト

13 公共施設マネジメント推進プロジェクト

1 行政サテライト機能再編成プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市では、周辺の町村との合併を重ねる中で、合併地区の住民の利便性を考慮し、旧町村役場を支所・行政センターとして設置してきましたが、市民ニーズの多様化、少子高齢化の進行や情報化の進展、地域における住民のつながりが薄れつつあることなど、支所・行政センターを取り巻く環境は大きく変化し、その役割も変化しています。

そこで、このプロジェクトでは、支所・行政センターと地域コミュニティとが連携しながら、住民が住みなれた地域をより暮らしやすい場所とできるよう、行政サテライト機能の再編を推進していきます。

平成27年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

地域のまちづくりを支援し、市民にとって身近な手続きや相談が身近な場所で行えるよう、支所、行政センター等の機能再編成の具体案を作成します。

主な取り組み

- 支所及び行政センターについて、地域の課題を解決する最先端の窓口と位置づけ、その機能の再編成を進めます。
- 本庁を含め、地域や市民が相談をしやすい体制づくりを進めます。

2 市庁舎建設プロジェクト

プロジェクトの概要

現在の市庁舎の課題である、施設の老朽化、狭隘化、窓口や執務室の分散、耐震強度の不足などの問題点の解決を、補強・改修により行うことは困難です。

これらの問題を解決するため、これまでに市議会での市庁舎建設特別委員会や市庁舎建替に関する市民懇話会、更には市民アンケートによりいただいた皆様からのご意見を踏まえて、平成23年2月に市庁舎を建替えることについて、平成25年1月には、建替場所を公会堂及び公会堂前公園敷地とすることなどを決定し、表明しております。

平成25年度には、新庁舎建設基本計画の策定にあたり設置した「長崎市新庁舎建設基本計画検討市民会議」や「市庁舎・支所機能再編検討特別委員会」からのご意見を踏まえ、基本計画を策定しました。

このプロジェクトでは、耐震性能の確保、バリアフリーや地球環境への配慮など、今の時代に求められる機能はもちろん、市役所をもっと身近に感じてもらうことができ、市民の皆様が訪れやすく、交流の場となるような「愛される市役所」をめざし、新たな市庁舎の早期完成に向けた取り組みを進めていきます。

平成27年度の取組方針・主な取組み

取組方針

早期の事業着手に向け、検討・準備を進めます。

主な取組み

● 基本・実施設計に向け、検討・準備を進めます。

● 新庁舎建設の財源として市庁舎建設整備基金への積み立てを行います。

関連事業	市庁舎建設整備基金（新規積立分）	1,000,000	千円
------	------------------	-----------	----

● 新庁舎建設事業の進捗状況について、市ホームページ等により、市民の皆様へ随時お知らせします。

3 世界遺産推進プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市には、平成27年の世界遺産登録をめざしている「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と、平成28年の世界遺産登録をめざしている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の2つの世界遺産候補があります。

そこで、このプロジェクトでは、2つの世界遺産登録の実現に向けて、構成資産の保全やイコモス現地調査への対応を行うとともに、世界遺産登録を見据え、来訪者の受入態勢の充実、周知啓発等を進め、来訪者の満足度や市民の機運醸成を高め、世界遺産を活用した交流人口の拡大による地域活性化をめざします。

平成27年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

- 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の平成27年の世界遺産登録を推進します。
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の平成28年の世界遺産登録を推進します。

主な取り組み

《明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域》

- 構成資産を保全し価値を後世に伝えるため、調査や計画の策定、保全のための整備に取り組みます。

(主な事業)

- ・ 高島炭坑跡及び端島炭坑跡の発掘調査
- ・ 高島炭坑跡及び端島炭坑跡の整備活用計画策定
- ・ 端島炭坑跡に残存する遺構の保全整備
- ・ 旧グラバー住宅の耐震診断調査

- 平成27年の世界遺産登録を見据え、受入態勢の充実を図ります。また、関係自治体と連携して周知啓発等を行い、世界遺産価値の理解促進を進めます。

(主な事業)

- ・ 世界遺産登録記念イベントの実施
- ・ ガイドブックの製作及び情報通信技術を活用したガイドシステムの構築
- ・ 長崎駅周辺にインフォメーション施設の設置
- ・ 構成資産をめぐる市民ツアーの実施
- ・ 構成資産周辺に誘導員の配置

関連事業	「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」登録推進費	104,860 千円
	世界遺産登録推進事業費（「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」）	95,500 千円
	文化財保存整備事業費（国指定史跡高島炭鉱跡高島北溪井坑跡）	4,500 千円
	文化財保存整備事業費（国指定重要文化財旧グラバー住宅）	10,800 千円
	世界遺産観光客受入費	76,202 千円
	世界遺産観光客受入費（6月補正予算要求）	14,494 千円
	文化財普及啓発費	972 千円

主な取組み

《長崎の教会群とキリスト教関連遺産》

- 平成27年夏頃に実施予定のイコモス現地調査に関係自治体と連携して対応します。
- 構成資産を災害等から守るため既存の保存管理計画に防災計画を追加します。
- 平成28年の世界遺産登録を見据え、受入態勢の充実を図ります。また、関係自治体と連携して周知啓発等を行い、世界遺産価値の理解促進を進めます。

(主な事業)

- ・ 出津地区及び大野地区の修景、駐車場、トイレ、歩行者ルートの整備
- ・ ガイドブックの製作及び情報通信技術を活用したガイドシステムの構築
- ・ 長崎駅周辺にインフォメーション施設の設置
- ・ 構成資産周辺に誘導員の配置

関連事業	世界遺産登録推進事業費（「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」）	194,500 千円
	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進費	33,690 千円
	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」特別企画展開催費負担金	1,870 千円
	世界遺産観光客受入費	17,686 千円

4 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト

プロジェクトの概要

急速な少子高齢化の進行、核家族化や一人暮らし世帯の増加など家族形態の変化、価値観や生活スタイルの変化などに伴う無関心や個人主義の広まりなどにより、地域の一員であるという地域属性の意識や地域の連帯感が持ちにくい状況にある一方で、東日本大震災以降、地域コミュニティの必要性は改めて認識されているところです。

そこで、このプロジェクトでは、地域の主体性、自立性を尊重した地域コミュニティの活性化を推進するため、自治会を含む地域全体の力を集める新しいしくみづくりを積極的に支援していきます。

平成27年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

次の視点から、地域が自ら考え、行動し、「自分たちのまちは自分たちでよくする」ための、新しいしくみづくりに取り組みます。

- 多様な主体による自立した地域運営に必要とされる知識やスキル等の習得を行う場を提供し、話し合う場づくりやリーダーの育成を通じた地域マネジメント力の強化を支援します。
- 有識者等からの意見を反映させながら、地域が動きやすいしくみづくりを進めるとともに、地域のパートナーとして、地域の動きを応援する市役所の力を高めます。

主な取り組み

- 【話し合う文化の醸成】
地域に講師を派遣して地域の人口推移や分布等の客観的なデータを見ながら、地域課題の抽出や解決に向けた取り組みについて話し合う地域勉強会の開催を支援し、地域の主要な団体が集まる場（地域円卓会議）の自主的かつ継続的な開催につなげます。
・地域と市長との意見交換会の開催
・わがまちみらい工房の開催支援
- 【リーダーの発掘・育成】
地域の担い手等を対象とした講座を開催し、多様な主体による自立した地域運営に必要とされる知識やスキル等の習得に向けた支援に取り組みます。
・わがまちみらいマネジメント講座の開催
- 【有識者等からの意見聴取】
附属機関を設置し、地域コミュニティ施策の推進などについて検討します。
・地域コミュニティ推進審議会の開催
- 【地域を応援する力の向上】
庁内各部署と連携し、地域に関する情報収集や職員の資質向上などに取り組みながら、地域への新しい支援のしくみづくりを進めます。

関連事業	地域コミュニティ推進費	6,890 千円
------	-------------	----------

5 長く元気で！プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市は超高齢社会を迎えています。現在、団塊の世代の多くが65歳以上となり、人口が減少していく中、高齢者の人口は今後も増加していきます。

そこで、このプロジェクトでは、超高齢社会においても、高齢者が住み慣れた地域で医療や介護を必要とせず、健康で生きがいをもって暮らしていける、「出番」と「居場所」のあるしくみづくりを進めていきます。

平成27年度取組方針・主な取組み

取組方針

「地域で取り組む健康づくり」と「しくみを活かす生きがいづくり」の2本の柱で、超高齢社会に対応した地域に根ざしたしくみづくりを行います。

- 「地域で取り組む健康づくり」につきましては、「高齢者ふれあいサロン」の各地区への展開を図るとともに、シニア世代への運動の習慣化を促進することで、地域で自主的に健康づくりを行う市民が増えるよう取り組みます。
- 「しくみを活かす生きがいづくり」につきましては、「ボランティアポイント制度」を活用したサポーターの育成に努めるとともに、シニア世代の退職後の生き方の道しるべとなるガイドブックの作成・周知を図ることで、生涯にわたり地域で元気に活躍する高齢者が増えるよう取り組みます。

主な取組み

- 身近にある公民館や集会所に高齢者が集い、そこに集まる市民が主体的に運営を行うことで、参加者の健康や生きがいづくりをはぐくみ、互いに地域で見守り、支え合う場の醸成に取り組みます。

関連事業	地域活動支援事業費（高齢者ふれあいサロン事業・長く元気で！交流会）	12,824 千円
------	-----------------------------------	-----------

- 地域における健康づくりの担い手である食生活改善推進員やロードウォークサポーターをはじめとした健康づくり推進員の活動を通して、連携・協働による地域での健康づくりの普及活動等に取り組みます。

関連事業	地域健康づくり推進費	3,242 千円
------	------------	----------

- 市民活動団体と協働して、「ノルディックウォーク」を活用したシニア世代の運動習慣化の推進に取り組みます。

関連事業	健康ウォーク推進事業費（提案型協働事業）	1,000 千円
------	----------------------	----------

- えがわ運動公園に健康遊具等を設置し、健康遊具とウォーキングを組み合わせた「高齢者いきいきプログラム」を活用し、地域住民と一緒に健康づくりに取り組みます。

関連事業	公園等施設整備事業費（健康遊具設置）	7,700 千円
------	--------------------	----------

- ボランティアポイント制度により「高齢者ふれあいサロン」や「施設ボランティア」等、地域の中でボランティア活動をする高齢者が増えるよう取り組みます。

関連事業	地域活動支援事業費（地域支援ボランティアポイント事業）	5,623 千円
------	-----------------------------	----------

- 市民活動団体と協働して高齢期に入る前からセカンドライフの準備ができるように「セカンドライフガイドブック」の作成やガイドブックを活用した出前講座に取り組み、シニア世代の退職後の道しるべとします。

関連事業	長く元気で！応援事業費（提案型協働事業）	1,820 千円
------	----------------------	----------

- ラジオ生ワイド番組と公開イベントの連携により、中高年層の活動発表・情報発信・新たな出会いの場を創出します。

関連事業	「飛び出す団塊シニア世代」交流促進事業費	1,296 千円
------	----------------------	----------

6 国際観光客誘致プロジェクト

プロジェクトの概要

少子化による修学旅行生の減少など、国の人口そのものが減少している中では、長崎市が国内観光客数を拡大させていくことは難しくなっており、海外からの観光客の誘致という視点が重要となっています。

そこで、このプロジェクトでは、主にアジア地域からの外国人観光客の誘客を図るとともに、国際クルーズ客船などからの外国人観光客がもたらす経済効果を最大限取り込むことで、まちの賑わいと経済活性化につなげることをめざします。

平成27年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

- 市内外国人延宿泊者数を30万人にすることを目標に、「長崎市アジア・国際観光戦略」に基づき、長崎観光の楽しみ方の効果的な情報発信及び外国人観光客の受入体制の整備充実を図ります。
- 国際クルーズ客船の寄港数の拡大につながるような取り組みを進めます。
(平成26年国際クルーズ客船の乗客・乗務員数：197,223人 隻数：72隻)

主な取り組み

- 情報発信及び外国人観光客の受入体制の整備を行います。
- ① 公衆無線LAN環境の整備等を行い、外国人観光客の滞在中の利便性向上を図ります。
- ② 韓国、台湾等重要市場である東アジア及びビザ緩和等により勢いのある東南アジアからの観光客増加に向けた海外プロモーションの積極的な展開を図ります。
- ③ 世界遺産の認定に向けて受入体制の整備を図るとともに、夜景等による宿泊型観光の推進や富裕層旅行の誘致促進など、高付加価値化に向けた取り組みを進めます。

関連事業	アジア・国際観光客誘致対策費	26,553 千円
	外国人観光客おもてなし事業費	32,967 千円
	観光施設整備事業費（無線LAN整備）	32,000 千円
	釜山広域市職員派遣費	6,456 千円
	長崎港クルーズ客船受入委員会負担金	6,200 千円

7 長崎サミットプロジェクト

プロジェクトの概要

地域経済の衰退に歯止めをかけるため、平成22年7月に経済4団体（長崎商工会議所、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎青年会議所）を主体に、アドバイザーとして長崎大学及びオブザーバーとして長崎県、長崎市を加えた産学官7団体による「長崎都市経営戦略推進会議」が設置され、危機感の共有と、民間主導で行う地域経済活性化への具体的な取組み「長崎都市経営戦略推進プロジェクト」が始まっています。また、プロジェクトを推進していくうえで、課題の共有やトップダウンによるプロジェクトの早期実現を図るため、産学官7団体の長からなる「長崎サミット」が開催されています。

このプロジェクトでは、経済波及効果が大きい「基幹製造業」、「観光」、「水産業」、「教育（大学）」の4分野における重点推進項目を選定し、複数のワーキングチームにより、アクションプランの策定と実現に向けた取組みが行われています。

平成27年度の取組方針・主な取組み

取組方針

主要4分野（基幹製造業、観光、水産業、教育（大学））での生産や雇用の誘発等の効果をもとめ、長崎都市経営戦略推進会議及び長崎サミットとの連携を図り、民間が主体となって行う事業を積極的に支援するとともに、長崎市が主体で行う事業においても産学官の連携を強め、より効果的なものとなるように取組みを進めます。

なお、MICE事業についてはこれまで長崎サミットプロジェクトとして進めてきましたが、現在、市議会の指摘を受けて、長崎駅西側の交流拠点施設用地についてはどのような活用がいいのか検討を進めているところです。

主な取組み

- 企業の経営力強化へ向けた事業などへの支援により、ものづくりの中小企業の競争力強化を図ります。

関連事業	ものづくり支援費	7,117 千円
------	----------	----------

- 産学連携を推進し、大学等の持つ研究成果等を活用した創業や新商品開発等の支援により、経済の活性化を図ります。

関連事業	産学連携・創業支援費（挑戦型研究開発支援事業）	10,000 千円
------	-------------------------	-----------

- 高付加価値船・省エネ船の受注拡大や海洋関連産業の拠点形成により、グローバル競争下で勝ち抜く地域産業構造へと発展するため、「ながさき海洋・環境産業拠点特区」指定の下、優れた環境技術により成長する次世代船と海洋産業に対応する人材育成と雇用創造策を講じることにより、地域に安定的で良質な雇用の創造を図ります。

関連事業	ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト推進費	3,726 千円
------	--------------------------	----------

- 外国人観光客を増加させることを目的とした受入体制の整備及び誘致活動を進めます。

関連事業	アジア・国際観光客誘致対策費（再掲）	26,553 千円
------	--------------------	-----------

- 長崎の水産練り製品のブランド化を進めて、売上増や販路拡大等によって、経済の活性化を図ります。

関連事業	長崎水産練り製品ブランド化支援費	775 千円
------	------------------	--------

- 水産加工品の衛生管理の水準を向上して競争力を高め、販路拡大につなげます。

関連事業	HACCP（ハサップ）認証推進費	2,500 千円
------	------------------	----------

- 留学生の誘致や長崎での生活の支援を行い、留学生の満足度を高めることで、将来にわたり留学生数の増加を図ります。

関連事業	留学生支援・連携費	1,548 千円
------	-----------	----------

- このほか、おもてなしの環境を向上させるための公共空間の環境美化活動（アダプトプログラム）や、新大工から松が枝に至るまちなか軸を活かした「まちぶらプロジェクト」、「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」を活用した造船や海洋・環境エネルギーに係る人材の育成及び雇用創造の取組みなども進めます。

8 まちぶらプロジェクト

プロジェクトの概要

歴史的な文化や伝統を色濃く残し、様々な都市機能が集積している「まちなか」においては、少子化、高齢化により都市の活力の低下が予測されていることから、魅力の強化が必要になってきているところです。

そこで、このプロジェクトでは、まちなかの回遊性を促し賑わいの創出を図るため、新大工から浜町、大浦に至るまちなか軸の、軸線上の各エリアの魅力高める面のまちづくりと、この面を連動させる軸づくりを進め、まちなかの魅力を具体的に見えるようにしていきます。

平成27年度の実行方針・主な取組み

実行方針

まちぶらプロジェクトにおける各エリアの方針のもと、地元との調整を図りながら、町家の保存活用、民間再開発事業や銅座川プロムナード事業の推進、ばらチャレンジなどの事業を実施し、各エリアの個性や魅力の顕在化を図ります。

主な取組み

＜エリアのまちづくり＞

- 新大工エリアで「商店街・市場を中心としたふだん着のまちづくり」に取り組みます。

関連事業	市街地再開発事業費 (新大工町地区)	414,858 千円
------	-----------------------	------------

- 中島川・寺町・丸山エリアで「和のたたずまいと賑わいの粋なまちづくり」に取り組みます。

関連事業	道路新設改良事業費 (浜町伊良林1号線)	44,000 千円
	まちなか再生推進費 (まちなみ整備助成金)	10,200 千円
	中部シシトキ排水区雨水渠事業	130,311 千円
	文化財保存整備事業費補助金 (県指定史跡花月)	1,729 千円
	まちなか再生推進費 (丸山魅力向上)	1,000 千円
	花のあるまちづくり事業費 (あじさいチャレンジ)	1,000 千円

主な取組み

- 浜町・銅座エリアで「長崎文化を体感し、発信する賑わいのまちづくり」に取り組みます。なお、エリア内の銅座地区においては、地区の防災性を向上させるとともに、地域の魅力を高めるため、銅座川プロムナードの整備に向けた調査等を実施します。

関連事業	市街地再開発事業費 (浜町地区)	13,200 千円
	都市計画街路整備事業費 (銅座町松が枝町線：銅座工区)	105,000 千円
	河川等整備事業費 (銅座川)	5,000 千円
	道路新設改良事業費 (地方道路等整備事業費：浜町油屋町1号線)	5,000 千円
	まちなか音楽会開催費	2,268 千円
	まちなか再生推進費 (銅座エリアまちづくり構想策定費)	7,000 千円
	外国人観光客おもてなし事業費	32,967 千円

- 館内・新地エリアで「中国文化に触れ、食を楽しむまちづくり」に取り組みます。

関連事業	都市計画街路整備事業費 (新地町福田町線)	124,000 千円
	都市計画街路整備事業費 (街路改良事業費：大浦山の手線)	8,000 千円
	歴史的地区環境整備事業費 (唐人屋敷顕在化)	24,000 千円
	歴史的地区環境整備費 (唐人屋敷まちなみ整備助成金)	5,000 千円
	公衆便所整備事業費 (湊公園便所)	20,000 千円
	道路新設改良事業費 (籠町福田町1号線：電線類地中化)	105,000 千円
	道路新設改良事業費 (電線類地中化整備事業費：籠町)	1,500 千円

- 東山手・南山手エリアで「異国情緒あふれる国際交流のまちづくり」に取り組みます。

関連事業	都市計画街路整備事業費 (銅座町松が枝町線：大浦工区)	15,000 千円
	斜面市街地再生事業費 (南大浦地区：南大浦地区拠点地域再生事業)	209,700 千円
	文化財保存整備事業費 (国指定重要文化財旧長崎英国領事館)	150,000 千円
	文化財保護推進費 (国指定重要文化財旧グラバー住宅)	10,800 千円
	文化財保護推進費 (東山手・南山手地区魅力向上費)	1,306 千円
	文化財保存整備事業費補助金 (伝統的建造物群保存地区)	11,808 千円
	文化財保存整備事業費補助金 (県指定有形文化財 旧長崎大司教館)	7,500 千円
	伝統的建造物群保存活用費 (6月補正予算要求)	5,940 千円
	ばらチャレンジ事業費	2,000 千円

主な取組み

《軸づくり》

- 「まちなか軸」を基軸として、各エリア間の回遊性を高める環境の整備を行います。また、長崎駅周辺や松が枝周辺等の周辺施設との連携軸の整備により「まちなか」への誘導を図ります。

関連事業	道路新設改良事業費 (岩原川周辺環境整備)	76,000 千円
	都市計画推進事業費 (まちなか再生賑わい整備)	5,000 千円
	都市計画街路整備事業費 (大黒町恵美須町線)	31,000 千円
	まちなか再生推進費 (長崎おもてなしトイレ支援事業)	2,000 千円
	商業振興対策費 (まちなか商業人材サポート事業費)	4,684 千円
	商業振興対策費 (商店街誘客調査事業費)	3,650 千円
	無線LAN整備(再掲)	4,353 千円
	歴史的風致維持向上計画策定費 (6月補正予算要求)	3,911 千円

《地域力によるまちづくり》

- 地域や市民自らが企業や行政、NPO等の多様な組織と連携を図りながら、まちを守り、育て、創るために行動し、その集積がまちなかを支えるような地域力や市民力を結集する取り組みを行います。

関連事業	まちなか再生推進費 (地域まちづくり活動事業)	2,000 千円
	まちなか再生推進費 (まちなか賑わいづくり活動支援)	2,000 千円

9 都市再生プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市の未来につながる魅力あるまちづくりを戦略的・総合的に推進していくうえで、新幹線整備を契機とした長崎駅周辺の再整備、松が枝地区の国際観光船埠頭の整備など、中心部で計画され進められている各種事業や将来求められる新たな事業などを、まちの活性化につなげていくことが重要になってきています。

そこで、このプロジェクトでは、長崎市中央部・臨海地域における交流人口を拡大させるため、中心部を松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、まちなかエリア、中央エリアの4つのエリアで捉え、長崎県と連携し、各エリアの整備計画の事業化に取り組み、都市の魅力の強化、回遊性の充実、国際ゲートウェイ機能の再構築を行っていきます。

平成27年度の取組方針・主な取組み

取組方針

長崎市中央部・臨海地域の松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、中央エリア、まちなかエリアの各整備計画に基づき、事業を着実に実施し、都市の再生を図ります。

主な取組み

- 長崎駅周辺土地区画整理事業などを着実に推進します。

関連事業	土地区画整理事業費 (長崎駅周辺地区)	368,100 千円
------	------------------------	------------

- 九州新幹線西九州ルート建設事業、連続立体交差事業など主要プロジェクトの促進を図ります。

関連事業	九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金	209,667 千円
関連事業	都市計画費負担金(社会資本整備総合交付金事業費、旧地方特定道路整備事業費、JR長崎本線連続立体交差事業費)	758,500 千円

- 都市計画道路大黒町恵美須町線(旭大橋東口交差点から長崎中央郵便局までの間の道路)拡幅整備を進めます。

関連事業	都市計画街路整備事業費(再掲) (大黒町恵美須町線)	31,000 千円
------	-------------------------------	-----------

※ 都市再生プロジェクトには、「まちぶらプロジェクト」(16~18ページ)の取組みも含まれています。

10 出島表門橋架橋プロジェクト

プロジェクトの概要

出島表門橋の架橋により、江戸町側から当時と同じように橋を渡って出島に足を踏み入れ、復元した街並みを見ることができ、海に浮かんでいた19世紀初頭の出島を実感できるようになります。

そこで、このプロジェクトでは、平成26年度に江戸町側の遺構確認工事に着手し、平成28年度の乙名詰所など出島中央部6棟の復元完成後、早期の架橋をめざします。

平成27年度の実行方針・主な取組み

実行方針

江戸町側の発掘調査結果を基に出島表門橋と対岸の中島川公園の詳細設計を行い、架橋工事を着工します。併せてシンポジウムの開催等を通して、出島表門橋と周辺整備及びまちづくりに活かすための情報の共有を市民の皆様と進めていきます。

主な取組み

- 出島表門橋と周辺整備に係る設計業務を進めます。
江戸町側の発掘調査終了後は、架橋工事を開始します。

関連事業	出島復元整備事業費（出島表門橋）	270,000 千円
------	------------------	------------

- 市民と事業に関する情報の共有を図るために、シンポジウムを開催します。

関連事業	出島復元推進費（出島表門橋整備推進費）	1,439 千円
------	---------------------	----------

- 出島復元計画と一体的な中島川公園の整備を図るための用地を取得し（土地取得特別会計等からの買戻し）、整備工事等を実施します。

関連事業	公園等施設整備事業費 （中島川公園（出島対岸地区））	148,000 千円
	近隣公園整備事業費 （中島川公園（出島対岸地区））	94,800 千円

- 出島表門橋架橋予定地の遺構確認現場から検出された旧出島橋の石材について、適切な保存管理を行いながら、調査研究を行います。

関連事業	出島復元推進費（旧出島橋調査費） （6月補正予算要求）	16,800 千円
------	--------------------------------	-----------

11 市役所カワルプロジェクト

プロジェクトの概要

市民ニーズが多様化・高度化するなか、効率的かつ効果的な行政サービスが求められています。また、市民の皆さんと協働してまちづくりを進めていくためには、信頼される市役所でなくてはなりません。

そこで、このプロジェクトでは、職員が常に市民起点で仕事に取り組み、成果をあげられる市役所になることをめざし、市民満足度の向上につながるしごと改革を推進していきます。そのためには、「自ら考え、自ら発信し、自ら行動する自立（律）型」へ転換し、また「市民や企業等と連携する協働型」、「今の時代に合わせた仕組みやルールを作りだす創造型」をプラスして仕事に取り組む職員の意識を醸成していきます。併せて職員がいまよりもっと活躍する環境を整え職員のやる気を引き出すとともに、持続的な市役所の成長につながる組織マネジメントの確立をめざします。

平成27年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

- やる気・やりがいを持って活躍する職員を目指し、職員力を成長させます。
- 目的・目標の達成に向けてチーム一丸となる職場を目指し、職場力を成長させます。
- 職員と職場の力を成果につなげるしくみを目指し、経営力を成長させます。

主な取り組み

- ① 【対話の促進】
対話の機会を数多くつくることで、職場内の良好な人間関係を構築し、本音で意見交換できる職場環境をつくります。
 - ・ 職場ミーティングの実施
 - ・ ミーティングリーダー養成
- ② 【全員運動】
職員全員で仕事の仕方の見直しに向けた運動を展開します。
 - ・ 職員全員が自らの仕事の見直しや工夫を実践する「一人1チャレンジ」の実施
 - ・ 市役所はってん機構（職員提案制度）を活用した改善事例の水平展開
 - ・ 事務、業務の見える化の実施
- ③ 【組織マネジメント力の強化】
管理職（所属長）が職場を活性化するしくみと環境を整えます。
 - ・ 組織マネジメントトレーニング（研修）と職場活性化プランの実践
- ④ 【気づき・きっかけづくり】
職員一人ひとりがカワル必要性に気づき、行動を変えるきっかけをつくります。
 - ・ まるかじり講座の開催
 - ・ カフェトークの開催
- ⑤ 【しくみづくり】
将来の都市像を実現する市役所の体質づくりとして、目的・目標の達成に向けた仕事の仕方と職員の成長を組織の成長につなげるしくみを整備します。
 - ・ 人材育成ビジョンの明示
 - ・ 組織と個人の目標・評価の連結

関連事業	行政マネジメント推進費	3,972 千円
------	-------------	----------

12 地域振興プロジェクト

プロジェクトの概要

合併地区においては、市町村合併後も引き続き人口減少はあったものの、長崎市都心部のベッドタウン的な地区にあつては人口減少傾向も逓減している状況です。一方、離島や過疎地域においては引き続き人口減少と高齢化が進行し、従来からの課題であつた雇用の場の確保と定住人口の拡大に加え、コミュニティの維持・地域の活力の低下が課題となっています。

そこで、このプロジェクトでは、地域住民とともに策定した地域振興計画を基に、地域の個性を活かした地域振興策を推進します。

平成27年度の実行方針・主な取組み

実行方針

- 地域振興計画の早期事業化に努めます。
- 住民の参画をさらに促し、住民と協働で地域の個性を活かしたまちづくりを推進します。

主な取組み

- 地域振興計画に基づく事業の具体化を進めます。

関連事業	虹色のまちづくり推進事業費	8,380 千円
	しまとく通貨発行費	2,576 千円
	池島産業遺産活用事業費	15,000 千円
	野母崎田の子地区再整備費	5,000 千円
	軍艦島が見える丘展望台整備事業	4,000 千円
	移住定住促進費	1,120 千円
	公園施設整備事業 (香焼総合公園)	35,000 千円
	次世代型自動車導入事業	7,600 千円
	世界遺産観光客受入費(再掲)	7,600 千円
	高島石炭資料館施設整備事業	6,000 千円
	世界遺産登録推進費(再掲)	138,550 千円
	世界遺産登録推進事業費(再掲)	290,000 千円
	四季彩館運営費(四季彩館案内看板設置)	1,150 千円

- 地域おこし協力隊の活動がさらに充実するための支援を行います。

関連事業	地域おこし協力隊事業費	24,778 千円
------	-------------	-----------

13 公共施設マネジメント推進プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市の公共施設は、老朽化が進んでおり、人口の減少や少子高齢化の進行など、公共施設を取り巻く状況が変化し、求められる役割も多様化していることから、将来を見据えた公共施設のあり方を抜本的に見直す時期が到来しています。

また、厳しい財政状況の下、これからの公共施設をどのように維持・更新していくかについては、施設のさらなる有効活用や将来を見据えた適正配置など、無駄をなくす取組みも必要です。

そこで、このプロジェクトでは、市民が安心して快適に公共施設を利用できるよう、さまざまな環境の変化に適応した公共施設へ見直しを図るとともに、次の世代に負担をかけずに継承できる持続可能な公共施設へと転換する「公共施設マネジメント」を推進し、子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまちの実現をめざします。

平成27年度の実行方針・主な取組み

取組方針

- 公共施設マネジメントの実施計画の策定に着手し、実効性のある公共施設マネジメントの取組みを進めていきます。
- 長崎市の公共施設マネジメントの取組みに対する市民の理解を深め、公共施設の再構築について合意形成を図っていきます。

主な取組み

- ① 公共施設マネジメントアドバイザーの支援を受け、地区ごとの施設の再配置計画となる「地区別計画」及び、個別施設の保全や長期修繕の年次プランを示す「施設別計画」の策定に着手するとともに、公共施設マネジメントの先行事例となるモデルプランの作成及び実践に取り組みます。
- ② 市民シンポジウムやワークショップの開催などによる周知・啓発活動を行います。

関連事業	公共施設マネジメント推進費	3,613 千円
------	---------------	----------

平成27年度 各部局等の重点的取組み

防災危機管理室

重点化方針

自助・共助・公助の連携による地域防災力の向上

重点的施策 1

自主防災組織の結成促進

主な取組み

自主防災組織の結成促進のため、地域防災マップづくりをはじめとした防災講話、結成説明会等での市民防災リーダーの活用

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E1	拡大		自主防災組織活動費（市民防災リーダーの活用）	防災危機管理室
E1	継続		自主防災組織活動費（市民防災リーダーの養成）	防災危機管理室	1,539 千円
E1	継続		自主防災組織活動費（自主防災組織防災用資機材購入）	防災危機管理室	4,083 千円
E1	継続		自主防災組織活動費（防災講話・結成説明会・防災訓練等）	防災危機管理室	462 千円
E1	継続		地域防災マップ作成費	防災危機管理室	1,735 千円

重点的施策 2

避難所の迅速な受入体制の構築

主な取組み

自主防災組織と避難所勤務要員が連携した避難所の迅速な開設及び円滑な運営を行うための試験的な取組みの実施

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E1	創造・ 挑戦枠		災害対策活動費（自主防災組織による避難所開設・運営の試験的な取組みの実施）	防災危機管理室

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

企画財政部

重点化方針

施策推進基盤を整え、施策の見える化を促進

重点的施策 1

目標達成したときの長崎のまち（世界都市・人間都市）が、よりイメージしやすい計画等の策定

主な取組み

- ・前期基本計画の成果、達成状況等を踏まえるとともに、社会情勢の変化及び市民ニーズ等を的確に反映した後期基本計画の策定
- ・人口減少対策の体系的整理と進捗管理及び総合戦略の策定

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
		H3	臨時	基本計画策定費（前期基本計画の進捗状況に係る市民周知用リーフレット等の作成を含む）	都市経営室
	H3	新規	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定費	都市経営室	9,636 千円
	H3	拡大	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定費（6月補正予算要求）	都市経営室	752 千円
	F4	新規	「ながさきで婚活」応援事業費	都市経営室	371 千円
	A2	新規	移住定住促進費	琴海行政センター	1,120 千円
	A3	拡大	游学都市・ながさき推進費（長崎地域の大学による取組み発表会の開催及び学生による地元企業紹介パンフレットの作成）	都市経営室	584 千円

重点的施策 2

総合計画の着実な推進に向けた安定的な財政基盤を確立する。

主な取組み

- ・具体的な収支改善計画を含む新たな行財政改革の実施計画策定に向けた取り組み
- ・中長期財政見通しの策定と分かりやすい公表

重点的施策 3

市民、企業、行政など様々な主体が当事者意識を持ち、協働しながらまちづくりを進めるような機運を醸成する。

主な取組み

- ・自治基本条例の制定
- ・提案型協働事業、協働クロストーク

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
		H2	臨時	自治基本条例検討費	都市経営室
	H2	継続	提案型協働事業推進費	市民協働推進室	550 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

総務部

重点化方針

市民に信頼される市役所づくり

重点的施策 1

時代の変化に柔軟に対応できる組織づくり

主な取組み

- ・地域や市民が相談しやすい体制の構築
- ・窓口の利便性の向上や定型的業務の委託等の推進
- ・新たな行財政改革の実施計画策定に向けた取り組み
- ・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の円滑な実施と特定個人情報保護に向けた体制及びシステムの整備
- ・政策実現に向けた統計データの有効活用の推進

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	H3	拡大			

重点的施策 2

課題に自ら対応できる職員づくり

主な取組み

- ・職員の能力・適性・専門性に基づく人事配置
- ・将来の職員像を踏まえた戦略的な研修の実施
- ・発揮された能力・挙げた実績に基づく新たな評価制度の構築
- ・公務遂行に支障のある職員への対応方針の策定・運用
- ・メンタルヘルス不調の未然防止策の実施

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	H3	継続			
	H3	継続	職員安全衛生管理費	人事課	46,562 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

理財部

重点化方針

- ・市税等自主財源のより一層の確保を図る。
- ・公共工事等の適正な施工（履行）を確保し、良質な社会資本の整備を図る。

重点的施策 1

課税客体の完全捕捉と債権回収の向上・強化

主な取組み

- ・税務調査の強化（国税・県税等の情報活用も含めた手法の改善）
- ・現年分徴収向上と差押等滞納処分の強化
- ・債権管理の強化（統一的な処理基準に基づく法的措置の推進）

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	H3	—	全庁的な債権管理の取組強化（進行管理の徹底、法的措置の推進、困難案件の処理の推進）	収納課	— 千円
H3	拡大	納付お知らせセンター運営費 （手数料等について納付お知らせセンターの活用）	収納課	411 千円	

重点的施策 2

- ・担い手の育成、確保につながる入札・契約制度の見直し
- ・業務委託における品質の確保

主な取組み

- ・改正「品確法」を踏まえた入札、契約の見直し
- ・早期発注の徹底と発注時期の平準化
- ・業務委託（工事関連以外）における積算や仕様書の標準化
- ・検査技能研修の充実

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	H3	継続	入札・契約制度適正化推進費	契約検査課	92,459 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

市民生活部

重点化方針

市民の暮らしをより便利で快適なものとするため、市民とともに課題解決に取り組む。

重点的施策 1

全所属で事業の見直しを進めるとともに、民間活力の導入で市民サービスの向上を図り、重点的な業務へ職員を配置して、市民ニーズに対応する。

主な取組み

- ・市民生活部全所属で事業の見直し（廃止）による考える時間の創造
- ・民間委託できる業務について、積極的な民間活力の導入を検討
- ・個人番号制度に伴い、コンビニ交付の実施など市民サービスの向上に取り組む

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	H3	拡大	案内所費 (総合案内所委託費)	安全安心課	3,295 千円
	H3	創造・ 挑戦枠	コンビニ交付システム整備費	市民課	27,084 千円
	H3	創造・ 挑戦枠	コンビニ交付システム運営費	市民課	6,465 千円
	H2	新規	個人番号カード推進事業費	市民課	157,301 千円
	H3	創造・ 挑戦枠	市民課窓口事務委託費	市民課	134,096 千円

重点的施策 2

地域コミュニティの中核である自治会の多様な活動をサポートすることで、信頼関係を構築するとともに、自治会の活性化につなげる取組みを支援する。

主な取組み

- ・各支所への地域支援担当職員の配置と、地域コミュニティのしくみづくりプロジェクトとの連携等により、地域自らで地域課題を計画的に解決していく仕組みづくりを支援
- ・自治会支援のあり方を総合的（全庁的）に見直し、より効果的で具体的な仕組みづくりを構築する。

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	H1	拡大	まちづくり活動推進費 (自治会広報ながさき等配布謝礼金)	自治振興課	8,353 千円
	H1	拡大	【単独】市民活動推進事業費補助金 ・自治会集会所建設奨励	自治振興課	30,000 千円

重点的施策 3		国体の成果を東京オリンピックへつなげるため、競技力向上の取り組みを維持するとともに、スポーツコンベンションなどの取り組みを強化する。			
主な取組み		<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体と連携したジュニア等の競技力向上対策の推進 ・「みる」「支える」スポーツの振興のため、スポーツ大会等の誘致を強化 			
主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	G3	継続	ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金	スポーツ振興課	15,094 千円
	G3	継続	競技力向上対策費補助金	スポーツ振興課	6,010 千円
	G3	継続	社会体育選手派遣費補助金	スポーツ振興課	24,936 千円
	G3	継続	社会体育大会開催費補助金	スポーツ振興課	1,485 千円
	G3	新規	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致推進費 (6月補正予算要求)	スポーツ振興課	210 千円
	G3	新規	ラグビーワールドカップキャンプ誘致推進費 (6月補正予算要求)	スポーツ振興課	5,617 千円

重点的施策 4		心安らかに葬送できる環境づくりに努めるとともに、もみじ谷葬斎場の建替えについて検討する。			
主な取組み		<ul style="list-style-type: none"> ・会葬者の方を待たせず、静かな雰囲気での葬送していただくため、現行の「棺」到着順から予約制を導入 ・もみじ谷葬斎場の建替えについて検討 			
主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	F8	新規	火葬場予約システム整備費	もみじ谷葬斎場	2,808 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

原爆被爆対策部

重点化方針

核兵器のない世界の実現に貢献する

重点的施策 1

被爆の実相を継承する

主な取組み

- ・原爆資料館展示リニューアル等
- ・被爆2世、3世等への被爆体験継承の推進
- ・米国国立公文書館における原爆資料の調査収集活動
- ・長崎原爆遺跡の指定文化財化に向けた調査・研究
- ・被爆資料等の保存活用等

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	B1	継続	【補助】平和施設整備事業費 原爆資料館	平和推進課	155,600 千円
	B1	継続	保存整備活動費 (長崎原爆戦災誌(英語版)作成)	被爆継承課	1,016 千円
	B1	継続	「語り継ぐ家族の被爆体験(家族証言)」推進費	被爆継承課	2,210 千円
	B1	継続	米国国立公文書館原爆資料調査費	被爆継承課	7,482 千円
	B1	継続	長崎原爆遺跡調査・研究費	被爆継承課	20,393 千円
	B1	新規	被爆建造物等公開費 (城山小学校被爆校舎及び山里小学校原爆資料室展示リニューアル)	被爆継承課	3,000 千円

重点的施策 2

被爆地として平和発信を強化する

主な取組み

- ・「世界子ども平和会議」開催による平和意識の醸成
- ・平和会議への参加等による平和アピールの発信
- ・長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)との連携
- ・NGO等との連携の推進
- ・平和ネットワーク活動の強化

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	B2	拡大	平和祈念式典行事費(拡大分) (国際連合事務総長の招聘、在外被爆者及び在外被爆者遺族の招聘、式典会場の環境改善等)	調査課	10,703 千円
	B3	拡大	世界子ども平和会議費 (世界162か国の少年が参加し開催)	被爆継承課	11,087 千円
	B2	新規	第61回バグウォッシュ会議世界大会開催費補助金	平和推進課	7,000 千円
	B3	新規	NGO核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会補助金	平和推進課	1,000 千円
	B2	継続	平和推進活動費 (NPT再検討会議での平和アピール活動実施)	平和推進課	3,668 千円
	B3	継続	平和特派員ネットワーク費	平和推進課	544 千円
	B2	新規	被爆70周年記念事業費補助金	調査課	7,484 千円

重点的施策 3

被爆者援護の充実を図る

主な取組み

- ・原援協、八者協を通じた国への要望活動
- ・原子爆弾放射線影響研究会による研究・調査

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	F5	継続	長崎原子爆弾被爆者援護強化対策協議会費	調査課	471 千円
F5	継続	広島・長崎原爆被爆者援護対策促進協議会費	調査課	570 千円	
F5	継続	原子爆弾放射線影響研究会費	調査課	563 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

福祉部

重点化方針

地域で生きがいをもって暮らせる

重点的施策 1

- ・医療との連携を強化した医療・介護・福祉等各関係機関との連携による地域包括ケアシステムの確立
- ・地域の実情に応じた介護予防サービスと生きがいづくりの推進
- ・住み慣れた地域で、安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

主な取組み

- ・地域包括支援センターが主催する地域ケア会議モデル事業の他の地区への拡大（3地区⇒8地区）
- ・高齢者ふれあいサロンの増設
- ・生活・介護支援サポーターの育成
- ・地域の特性に応じた医療と介護の連携や支援体制の構築のため地域包括ケア推進協議会の設置
- ・火災発生情報を屋外へ警報するための高齢者安心火災警報器給付事業の実施

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
主な事業	F2	拡大	包括的支援事業費（包括的・継続的ケアマネジメント支援）	高齢者すこやか支援課	520 千円
	F2	拡大	地域活動支援事業費（高齢者ふれあいサロン事業）	高齢者すこやか支援課	2,188 千円
	F2	継続	生活・介護支援サポーター事業費	高齢者すこやか支援課	4,356 千円
	F2	新規	地域包括ケア推進協議会費（6月補正予算要求）	高齢者すこやか支援課	1,329 千円
	F2	新規	高齢者安心火災警報器給付費（6月補正予算要求）	高齢者すこやか支援課	18,000 千円

重点的施策 2

生活保護受給世帯に対する就労支援及び生活困窮者の自立に向けた支援

主な取組み

- ・生活保護受給者に対する就労支援員等による就労支援
- ・生活保護受給者に対する民間委託による就労支援
- ・「生活困窮者自立支援法」施行に伴う生活困窮者への家計相談支援
- ・「生活困窮者自立支援法」施行に伴う生活保護世帯・生活困窮者世帯の子どもを対象とした学習支援

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
主な事業	F6	継続	生活保護受給者就労支援費（就労支援員による就労支援分）	生活福祉2課	16,989 千円
	F6	継続	生活保護受給者就労支援費（民間委託による就労支援分）	生活福祉2課	64,306 千円
	F6	継続	生活困窮者自立支援費（家計相談支援分）	生活福祉2課	3,672 千円
	F6	継続	生活困窮者自立支援費（学習支援分）	生活福祉2課	7,787 千円

重点的施策 3

障害者の就労支援及び地域での支援体制の整備、強化

主な取組み

- ・ 障害者雇用の開拓、就労相談支援の実施
- ・ 障害者支援施設等からの物品等の優先調達の推進
- ・ 授産製品の販売促進
- ・ 地域における相談支援体制の充実
- ・ グループホームの整備促進

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	F3	継続	障害者就労支援相談所運営費	障害福祉課	5,556 千円
	F3	継続	障害者雇用開拓費	障害福祉課	2,991 千円
	F3	継続	授産製品販売促進費	障害福祉課	12,500 千円
	F3	継続	障害者相談支援費	障害福祉課	15,000 千円
	F3	継続	障害児等療育支援費	障害福祉課	8,698 千円
	F3	継続	相談支援費	障害福祉課	16,296 千円
	F3	新規	障害者福祉施設整備事業費補助金（共同生活援助事業所）	障害福祉課	126,000 千円
	F3	新規	障害者福祉施設整備事業費補助金（短期入所事業所）	障害福祉課	9,800 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

市民健康部

重点化方針

市民が健康で安心して暮らせるまちを目指します

重点的施策 1

生活習慣病の予防

主な取組み

- ・「第2次健康長崎市民21」計画に基づく地域や職域との連携・協働による健康づくりの推進
- ・胃がんリスク検診（ABC検査）の導入による胃がんの予防・早期発見
- ・モデル地区の設定による特定健診受診率の向上
- ・子どもから高齢者までの幅広い年齢層における歯科口腔保健の推進

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	F7	継続	健康長崎市民21普及費	健康づくり課	1,737 千円
	F7	拡大	がん予防対策費 (胃がんリスク検診(ABC検査))	健康づくり課	22,774 千円
	F7	継続	健診等受診率向上モデル事業	国民健康保険課	1,623 千円
	F7	継続	歯科口腔保健連携推進費	健康づくり課	1,102 千円

重点的施策 2

- ・持続可能な医療提供体制の構築
- ・医療・介護・福祉の連携が図られた地域包括ケアシステムの構築

主な取組み

- ・地域医療審議会における医療機能の分化・連携（地域医療構想）及び医療・介護の連携（地域包括ケアシステム）の構築に向けた協議の実施
- ・まちななかラウンジにおける医療と介護・福祉の連携の推進
- ・地域の特性に応じた医療提供体制の確保及び野母崎地区における診療所の空きスペースを活用した特別養護老人ホームの整備
- ・新市立病院のグランドオープン（513床）に向けた体制整備の確実な推進

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	F9	継続	地域医療対策費	地域医療室	976 千円
	F9	継続	包括ケアまちななかラウンジ運営費	地域保健課	24,044 千円
	F9	継続	南部地区救急拠点病院運営費補助金	地域医療室	21,175 千円
	F9	継続	民間病院施設整備事業費補助金（ニュー琴海病院）	地域医療室	30,000 千円
	F9	継続	高齢者福祉施設整備事業費補助金（特別養護老人ホーム等（野母崎地区））	地域医療室	106,021 千円
	F9	継続	長崎市立病院機構評価委員会費	地域医療室	579 千円
	F9	継続	長崎市立病院機構運営費負担金	地域医療室	1,534,434 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

こども部

重点化方針

安心して子育てできる環境を充実させる

重点的施策 1

保育所待機児童の解消及び放課後児童の居場所の確保

主な取組み

- ・保育所定員の拡大
- ・放課後児童クラブ受入れ人員の拡大
- ・放課後子ども教室の充実

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	F4	拡大	【単独】児童福祉施設整備事業費補助金（民間保育所）（6月補正予算要求）	幼児課	293,031 千円
	F4	新規	施設型給付費（保育所・認定こども園・幼稚園）	幼児課	10,859,582 千円
	F4	拡大	放課後児童健全育成費（放課後児童クラブにおける運営費補助金の拡充）	こどもみらい課	438,756 千円
	F4	新規	【補助】児童福祉施設整備事業費 放課後児童クラブ	こどもみらい課	81,000 千円
	F4	継続	放課後子ども教室推進費	こどもみらい課	4,081 千円

重点的施策 2

子育て家庭の不安や負担の軽減

主な取組み

- ・産前・産後支援の充実
- ・子育て支援センターの拡充
- ・子育て家庭の経済的負担の軽減

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	F1	拡大	親育ち学びあい事業費（のびのび子育て講座の実施回数増）	子育て支援課	300 千円
	F4	拡大	子育て支援センター運営費（子育て支援センター運営団体選定審査会委員報酬）	子育て支援課	143 千円
	F4	拡大	子ども医療対策費（対象拡大に伴う準備経費）（6月補正予算要求）	子育て支援課	7,277 千円
	F4	継続	母子保健訪問指導費	こども健康課	2,098 千円
	F4	継続	乳児家庭全戸訪問費	こども健康課	5,536 千円
	F4	継続	妊産婦健康診査費	こども健康課	329,300 千円
	F4	継続	乳幼児健康診査費	こども健康課	44,749 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

環境部

重点化方針

環境負荷の少ない持続可能な魅力ある故郷を次の世代へ引き継ぐ

重点的施策 1

ごみの減量・リサイクルの促進等による循環型社会形成の推進

主な取組み

- ・ 小型家電の新たな分別収集の検討と生ごみの減量及び古紙の分別収集の徹底
- ・ 新西工場建設に伴うプラスチック製容器包装以外のプラスチックの焼却及び展開検査の徹底による埋立処分量の減量化・埋立処分場の延命化
- ・ し尿収集体制の効率化及びし尿処理施設を適正規模として延命化

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	D2	継続	環境啓発推進費（ごみの分別、リサイクルの促進）	廃棄物対策課	4,226 千円
D2	継続	生ごみ減量推進費（生ごみ処理機購入者への購入費の補助及び生ごみ堆肥化講習会等の実施）	廃棄物対策課	2,036 千円	
D2	新規	分別収集推進費（平成28年新西工場の整備にあわせて行う分別変更に伴う啓発）	廃棄物対策課	3,513 千円	
D2	継続	新西工場建設事業費（ごみ焼却施設建設）	環境整備課	5,384,200 千円	
D2	継続	一般廃棄物搬入ごみ展開検査費 （三京クリーンランド埋立処分場）	三京クリーンランド 埋立処分場	3,597 千円	
D2	継続	し尿処理施設整備事業費 （琴海クリーンセンター・長崎半島クリーンセンター）	クリーンセンター	899,000 千円	

重点的施策 2

市民の環境意識の高揚及び全市的な環境行動の実践

主な取組み

- ・ 「ながさきエコライフ基金」を活用した環境保全活動の推進
- ・ 「ながさきエコライフ」の取組みの浸透と定着及び「ながさきエコネット」の拡大
- ・ ボランティア清掃の積極的支援など市民協働による環境美化の推進
- ・ 産学官民協働による環境教育・学習の推進

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	D5	継続	地球温暖化対策市民運動推進費	環境政策課	12,198 千円
E8	継続	市民協働環境美化推進費	廃棄物対策課	2,924 千円	

重点的施策 3	再生可能エネルギーの導入促進等による低炭素社会の実現
----------------	-----------------------------------

主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「ながさきソーラーネットプロジェクト」の確実な実施とさらなる再生可能エネルギーの導入促進 ・防災拠点への再生可能エネルギー等の導入促進 ・自動車使用の低炭素化の推進
--------------	---

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	D1	新規	防災拠点再生可能エネルギー等設備導入促進事業費	環境政策課	146,000 千円
D1	拡大	防災拠点再生可能エネルギー等設備導入促進事業費 (6月補正予算要求)	環境政策課	74,266 千円	

重点的施策 4	生物多様性保全の啓発等による自然共生社会の実現
----------------	--------------------------------

主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会・観察会等を活用した希少動植物の保護及び外来種の拡散抑制 ・相川休耕田等の地元との協働による自然再生と活用 ・自然環境マップの作成
--------------	---

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	D5	臨時	環境啓発推進費 (長崎市自然環境マップの作成)	環境政策課	900 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

商工部

重点化方針

新分野への進出と商業機能の充実により域外需要（外貨）の獲得強化を図り、雇用の拡大と所得の向上を目指す

重点的施策 1

造船・造機技術を活用した海洋エネルギー分野への進出支援
～地域の技術シーズを生かし産業構造転換に繋げる千載一遇の好機～

主な取組み

ながさき海洋・環境産業拠点特区による取組みの推進

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	C3	新規	海洋再生エネルギー産業集積推進費補助金	産業雇用政策課	6,000 千円

重点的施策 2

中心市街地商店街における商業機能の充実促進
～交流人口と定住人口の増加に対応したグローバルな商業機能の再構築～

主な取組み

長崎市中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の展開

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	C4	新規	商店街誘客調査事業費	商業振興課	3,650 千円
	C4	新規	長崎市中心市街地活性化協議会補助金	商業振興課	499 千円
	C4	継続	まちなか商業人材サポート事業費	商業振興課	4,684 千円

重点的施策 3		企業立地による雇用の拡大			
主な取組み		長崎県と連携した企業誘致活動や企業立地奨励制度による企業立地の促進			
主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	C3	継続	企業誘致推進費	産業雇用政策課	318,119 千円
	C3	新規	企業立地用地整備事業費	産業雇用政策課	767,000 千円

重点的施策 4		地場企業の経営力強化への支援			
主な取組み		地場企業が抱える課題の解決へ向けた支援			
主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	C1	新規	U I J ターン就職促進費（6月補正予算要求）	産業雇用政策課	3,736 千円
	C1	新規	産業育成支援費 （地場企業知名度アップ支援事業）	産業雇用政策課	1,810 千円
C1	拡大	優れモノ認証費 （展示会への出展事業）	産業雇用政策課	994 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

文化観光部

重点化方針

- ・長崎にしかない歴史・芸術文化・文化財を保存・活用し、その魅力を国内外に効果的に情報発信することにより、賑わいの創出・交流人口の拡大を図る。
- ・宿泊滞在型観光の推進により、観光消費額の増加を促し、長崎の活性化を図る。

重点的施策 1

長崎独自の歴史・文化等の資源磨きと魅力向上

主な取組み

- ・県市協働による「長崎の夜景の在り方に関する検討委員会」の提言を踏まえた夜景観光の推進

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	A4	拡大		観光施設整備事業費（観光施設ライトアップ設備整備）（稲佐山山頂電波塔ライトアップ）（6月補正予算要求）	観光政策課
A4	継続		観光イルミネーション事業費	観光政策課	19,173 千円
A4	新規		ロープウェイ施設整備事業費（待合所改築）	観光政策課	118,000 千円
A4	新規		耐震化推進事業費（稲佐岳駅舎ほか）	観光政策課	200,000 千円

主な取組み

- ・「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」に関連した旧グラバー住宅等の保存整備、設計業務等の着手
- ・歴史文化基本構想に基づく文化財の把握、保存及び活用計画の策定並びに長崎の歴史文化や文化財の重要性の市民への啓発

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	A1	新規		国指定重要文化財旧グラバー住宅	文化財課
A1	継続		国指定重要文化財旧長崎英国領事館	文化財課	150,000 千円
A1	新規		国指定史跡長崎台場跡四郎ヶ島台場跡保存管理計画策定費	文化財課	6,400 千円
A1	新規		歴史的風致維持向上計画策定費（6月補正予算要求）	文化財課	3,911 千円
A1	新規		ながさき歴史の学校費	文化財課	640 千円

主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界につながる出島」をテーマにした出島表門橋の架橋及び6棟復元に伴う整備 ・出島完全復元に向けた出島保存管理計画の策定
--------------	--

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	A1	継続		保存管理計画策定費	出島復元整備室
A1	継続		出島保存管理計画策定委員会費	出島復元整備室	740 千円
A1	継続		出島表門橋整備推進費	出島復元整備室	1,439 千円
A1	継続		出島復元整備事業費（建造物復元）	出島復元整備室	314,000 千円
A1	拡大		出島復元整備事業費（建造物復元） （6月補正予算要求）	出島復元整備室	4,404 千円
A1	継続		出島復元整備事業費（出島表門橋）	出島復元整備室	270,000 千円
A1	新規		旧出島橋調査費（6月補正予算要求）	出島復元整備室	16,800 千円

主な取組み	・長崎の特色を活かした芸術文化の振興
--------------	--------------------

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	G4	臨時		文化のつどい2015開催費補助金	文化振興課
G4	継続		マダム・バタフライフェスティバル開催費負担金	文化振興課	4,000 千円

主な取組み	・姉妹都市や市民友好都市との交流拡大の促進
--------------	-----------------------

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	A5	継続		子どもゆめ体験費	国際課
B3	新規		セントポール市姉妹都市提携60周年記念事業費	国際課	3,342 千円
B3	継続		自治体職員協力交流費	国際課	2,357 千円

重点的施策 2

世界遺産、世界新三大夜景等を主体とした効果的な誘致宣伝

主な取組み

・二つの世界遺産、世界新三大夜景等を主体とした効果的な情報発信

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	A4	拡大	宣伝活動費（世界遺産・世界新三大夜景の広告宣伝）	観光推進課	6,000 千円
A4	新規	海外プロモーション事業費	観光推進課	26,000 千円	
A4	拡大	国内観光客誘致対策費（修学旅行誘致対策費負担金）	観光推進課	5,000 千円	

主な取組み

・JRや航空会社等の交通キャリアや旅行代理店等と連携した官民協働による効果的な誘致宣伝
 ・ハウステンボス（世界一の光）及び長崎県（ひかりと祈り 光福の街長崎）との連携

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	A4	拡大	交通事業者連携事業費（長崎デスティネーションキャンペーン事業負担金）	観光推進課	12,287 千円

重点的施策 3

国内外観光客の受入態勢の充実

主な取組み

・世界遺産登録に伴う観光客受入態勢の充実

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	A4	拡大	世界遺産観光客受入費	観光政策課 観光推進課	93,888 千円
A4	拡大	世界遺産観光客受入費（6月補正予算要求）	観光政策課 観光推進課	14,494 千円	

主な取組み

・外国人観光客のニーズを踏まえた受入態勢の整備

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	A4	継続	アジア・国際観光客誘致対策費	観光推進課	26,553 千円
A4	新規	外国人観光客おもてなし事業費	観光推進課	32,967 千円	
A4	新規	観光施設整備事業費（無線LAN整備）	観光推進課	32,000 千円	
A4	拡大	長崎港クルーズ客船受入委員会負担金	観光推進課	1,020 千円	
A4	新規	外国人観光客受入環境整備費補助金	観光推進課	20,000 千円	
A4	新規	多言語情報発信事業費	観光推進課	6,000 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

水産農林部

重点化方針

自ら考え行動できる農林水産業の育成と環境づくり

重点的施策 1

戦略地区や各浜の地域において「人・農地プラン」、「浜の活力再生プラン」の着実な実施による地域の所得向上

主な取組み

- ・地域の特性にあった生産コストの縮減
- ・協業化や複合化など収益性の高い経営体づくり
- ・集落営農法人化を目指す
- ・効率的な生産基盤施設・漁港施設・環境づくり

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	C6	新規	人・農地プラン整備計画策定費	農業振興課	10,000 千円
	C6	継続	担い手農家支援施設	農業振興課	58,682 千円
	C7	新規	水産振興計画策定費	水産振興課	498 千円
	C7	継続	水産多面的機能発揮対策支援費	水産振興課	4,955 千円
	C7	継続	漁港施設機能保全	水産振興課	24,000 千円

重点的施策 2

生産者と流通販売業者等が一体となった実行組織による販売戦略の推進

主な取組み

- ・旬の美味しい魚の消費拡大と観光素材化
- ・なつたよりの有利販売戦略構築
- ・長崎和牛・出島ばらいろの地域ブランドとしての定着及び消費拡大
- ・農水産物加工分野の強化と6次産業化促進
- ・ながさきの食の情報発信拠点づくりの検討
- ・地域産材の公共建築物等への利用促進による生産から消費のサイクルの健全化

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	C6	継続	ながさき産品ブランド化リーディング事業費	水産農林政策課	6,000 千円
	C6	継続	「長崎和牛・出島ばらいろ」ブランド強化費	水産農林政策課	2,100 千円
	C7	継続	「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業費	水産農林政策課	8,910 千円
	D4	新規	公共建築物等木質化推進事業費	農林整備課	1,500 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

土木部

重点化方針

これからの長崎へつながる道づくり

重点的施策 1

- ・ 広域幹線道路の整備促進のための取組み
- ・ 斜面地における生活道路の早期整備
- ・ 人と環境に配慮した新たな交通施策の検討

主な取組み

高速道路(長崎IC～芒塚IC)の4車線化(用地取得済)、国道34号新日見トンネルの4車線化(用地取得済)、外環状線(新戸町～柳田町)の事業化、南北幹線道路(茂里町～時津町)の事業化、車みち整備事業の推進、次世代型自動車の導入検討

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E7	継続		幹線道路整備推進費	土木企画課
E8	拡大		車みち整備事業費	道路建設課	146,500 千円
A2	新規		世界遺産観光客受入費(次世代型自動車導入事業(高島地区))	土木企画課 観光政策課	7,600 千円

重点的施策 2

土木技術職員の意欲や技術力を高める組織づくり

主な取組み

持続可能な研修システムの構築(大学等による専門分野の研修、中堅職員による若手職員の研修)

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E8	新規		研修費(土木技術職員研修業務委託)	土木企画課

※予算額については、記載した事業(拡大事業の場合は拡大部分)に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

都市計画部

重点化方針

新幹線が開業する2022年に向けた、
にぎわいや暮らしやすさを実感できる都市づくり

重点的施策1

都市の魅力を高める施策を推進します。

主な取組み

- ・社会情勢の変化に的確に対応し市民にとってわかり易い都市計画マスタープランへの改訂
- ・都心部の広幅員道路に面した街区における高容積率施策の導入
- ・長崎駅周辺エリアにおける魅力的な都市空間づくり
- ・世界新三大夜景の視点場となる公園の再整備
- ・九州新幹線西九州ルート of 着実な整備
- ・長崎駅周辺の再整備
- ・松が枝国際観光ふ頭2バース化の整備促進

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	A2	継続	景観推進費	まちづくり推進室	5,720 千円
	A2	継続	長崎駅周辺エリアデザイン検討費	長崎駅周辺整備室	16,017 千円
	A3	継続	土地区画整理事業費（長崎駅周辺地区）	長崎駅周辺整備室	368,100 千円
	A3	継続	九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金	長崎駅周辺整備室	209,667 千円
	A3	継続	都市計画費負担金（JR長崎本線連続立体交差事業費）	長崎駅周辺整備室	758,500 千円
	E5	継続	都市計画マスタープラン改訂費	都市計画課	17,613 千円
	E8	新規	公園等施設整備事業費（冠鍋山公園展望台（夜景観光整備））	みどりの課	132,200 千円

重点的施策2

暮らしやすいまちの形をつくります。

主な取組み

- ・都心部の大型公共施設整備に応じた公共交通網の見直し
- ・買物や通院など、地域住民の生活の足を守る公共交通の確保、維持、改善
- ・斜面市街地再生事業の見直しと新たな取組みの展開
- ・安全で快適な都市環境の形成と賑わいの維持向上に向けた市街地再開発事業の支援
- ・都市計画道路東長崎縦貫線の事業着手
- ・地元自治会と協力した公園管理の方法検討

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	A2	継続	歴史的地区環境整備事業費（唐人屋敷顕在化）	まちづくり推進室	24,000 千円
	E5	継続	老朽危険空き家対策費	まちづくり推進室	22,112 千円
	E5	継続	市街地再開発事業費（新大工町地区）	まちづくり推進室	414,858 千円
	E5	新規	市街地再開発事業費（浜町地区）	まちづくり推進室	13,200 千円
	E5	継続	斜面市街地再生事業費	まちづくり推進室	521,200 千円
	E5	継続	都市基盤施設整備事業費（東長崎地区）	東長崎土地区画 整理事務所	43,000 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

建築部

重点化方針

安全・安心な居住環境をつくる。

重点的施策 1

市営住宅の適正な供給

主な取組み

- ・住宅確保要配慮者への対応
- ・入居の傾向と将来を見据えた計画的な市営住宅の募集
- ・老朽化した市営住宅の計画的な建替え（集約）
- ・島しょ部における集約・除却の推進
- ・既設市営住宅の居住環境の改善
- ・既設市営住宅の外灯のLED化

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E6	継続	公営住宅建設事業費（大園団地）	住宅課	360,000 千円
E6	新規	公営住宅建設事業費（本河内団地）	住宅課	46,000 千円	
E6	新規	公営住宅ストック総合改善事業費（新戸町団地）	住宅課	25,400 千円	
E6	継続	既設公営住宅改善事業費（矢上団地ほか）	住宅課	220,000 千円	

重点的施策 2

建築物等の防災性の向上

主な取組み

- ・民間建築物の耐震化
耐震診断から改修工事までの支援による耐震化の促進
- ・特殊建築物の適正管理
福祉施設・医療施設・ホテル・旅館など、特殊建築物の定期報告の徹底、違反是正の徹底
- ・老朽危険空き家対策
空き家等適正管理条例に基づく指導及び除却費補助による除却等の改善推進
- ・宅地のがけ災害対策
被災したのがけ復旧の支援による斜面地の安全・安心な生活環境の確保

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E6	継続	耐震化推進費補助金（安全・安心住まいづくり支援費）	建築指導課	41,656 千円
E6	拡大	耐震化推進費補助金（民間建築物耐震化推進費補助金） （要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修設計費補助金）	建築指導課	36,657 千円	
E6	臨時	耐震化推進費補助金（民間建築物耐震化推進費補助金） （要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断費補助金）	建築指導課	48,913 千円	
E6	継続	耐震化推進費補助金（民間建築物耐震化推進費補助金） （特定建築物の耐震診断費及び耐震改修設計費補助金）	建築指導課	8,000 千円	
E6	継続	建築指導費（老朽危険空き家除却費補助金）	建築指導課	10,000 千円	
E1	新規	建築指導費（宅地のがけ災害対策費補助金）	建築指導課	20,000 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

消防局

重点化方針

市民が安全・安心のために支えあう人づくり地域づくり

重点的施策 1

・地域に根ざした防火防災体制の構築
～各種災害に対応できる市民及び組織の育成と消防団員の入団促進～

主な取組み

- ・子供から高齢者まで年齢に応じた防火防災教育の実施
- ・関係機関との連携による斜面地を中心とした高齢者の安全対策への取組み
- ・消防団と地域住民が連携した防火防災訓練等の実施
- ・市民防火組織の結成促進と活性化
- ・地域や事業所の理解と協力による消防団が活動しやすい環境づくりと入団促進
- ・消防団員による一般家庭等の防火訪問
- ・初期消火用具の有効活用のための軽量化と地域住民による取扱い訓練の実施

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	E2	拡大	災害防御費 (消防団への災害用資機材の拡充)	警防課	2,400 千円
E2	継続	団員加入促進事業費	予防課	984 千円	
E2	継続	初期消火体制整備費	警防課	5,524 千円	

重点的施策 2

・救命率の向上
～病院前救護体制の充実と救急車の適正利用～

主な取組み

- ・救急サポートステーションの拡充とAED活用の周知
- ・中学生を対象としたスクール救命サポーター育成事業の実施
- ・子供から高齢者まで幅広い世代への応急手当の普及啓発
- ・119番受報の際の市民に対する応急手当の誘導
- ・各種メディアの活用や啓発ポスターなどによる救急車の適正利用の周知
- ・医療機関等と連携した救急車の適正利用の周知

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	F9	継続	救急業務費 (応急手当の普及啓発・スクール救命サポーター育成事業)	警防課	618 千円
F9	継続	救急業務費 (救急車適正利用の普及啓発)	警防課	152 千円	
F9	継続	救急サポートステーションの拡大	警防課	— 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

上下水道局

重点化方針

上下水道事業の持続性を確保するため、「経営基盤及び施設機能」の強化を計画的に進める。

重点的施策 1

持続（効率的・効果的な事業運営、上下水道施設の統廃合）

主な取組み

- ・改築・更新時期を迎えた中部下水処理場を統廃合するため、必要となる汚水幹線の整備及び水処理施設の増設を推進する。
- ・老朽化した浄水場の統廃合計画を策定するのに併せ、水道事業の広域化を検討する。
- ・アセットマネジメント計画を策定する。
- ・集落排水事業について、下水道事業と同様の情報管理システムを構築する。

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	D3	拡大	下水道施設統合整備事業 (西部下水処理場等土木・電気・機械工事)	事業管理課 下水道建設課 下水道施設課	622,059 千円
E9	拡大	アセットマネジメント導入計画策定事業 (下水道情報管理システムデータ改良等業務委託)	事業管理課	1,614 千円	
D3	新規	施設情報管理システムデータ整備費(集落排水事業)	総務課	18,313 千円	

重点的施策 2

普及促進（水道未給水地区・下水道未整備地区の解消）

主な取組み

- ・新たな未給水地区無水源簡易水道事業に着手し、水道未給水地区の解消を図る。
- ・私道への汚水管布設について、地域と一体となり積極的に取り組む。

主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は補正予算要求額
	E9	新規	未給水地区無水源簡易水道事業	事業管理課 水道建設課	58,000 千円
D3	継続	私道公共下水道汚水管布設	事業管理課 下水道建設課	30,000 千円	

重点的施策3

強靱化（施設の機能強化、耐震化等・危機管理対策の強化）

主な取組み

- ・下水道施設の長寿命化・不明水対策により、ライフサイクルコストの最小化を図るとともに耐震化を推進する。
- ・配水施設整備事業等により、老朽施設による事故を未然に防ぐとともに耐震化を推進する。
- ・水道施設統合整備事業により合併地区の水道施設を統廃合する。
- ・市内中心部の雨水を排除し、浸水防止に取り組むため、雨水渠の整備を推進する。

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	D3	拡大	下水道施設の長寿命化・不明水対策 （下水処理場改築工事ほか）	事業管理課 下水道建設課 下水道施設課	269,504 千円
	E9	拡大	耐震化事業（水道） （稲佐減圧槽築造工事ほか）	事業管理課 給水課 浄水課	67,477 千円
	D3	拡大	耐震化事業（下水道） （南部下水処理場減菌棟耐震補強工事ほか）	事業管理課 下水道建設課	158,700 千円
	E9	継続	配水施設整備事業	水道建設課	1,300,000 千円
	E9	継続	水道施設統合整備事業	事業管理課 水道建設課	1,066,880 千円
	E1	拡大	公共下水道雨水建設事業 （中部第三排水区（尾上町）雨水渠布設工事ほか）	事業管理課 下水道建設課	420,811 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成27年度 各部局等の重点的取組み

教育委員会

重点化方針

学校・家庭・地域がそれぞれの教育効果を発揮し、「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力を育む

重点的施策 1

- ・ 基本的生活習慣・基礎学力の定着
- ・ 家庭教育支援の推進（ファミリープログラム）
- ・ いじめ対策を含め、特別な教育的支援を必要とする子どもへの対応（専門機関との連携強化）
- ・ 学校の適正配置と学校施設の計画的な維持管理

主な取組み

- ・ 幼保小中の連携を強化と基本的生活習慣と規範意識確立の定着の推進
- ・ 基礎学力向上のための市共通トレーニング集の充実と活用の推進
- ・ 学校図書館司書のスキルアップと、学校図書館司書を活用した授業の推進
- ・ 家庭教育力向上のための保護者に対するファミリープログラムを活用したPTA活動の充実
- ・ 特別な教育的支援を要する子どもについて、早期からの教育相談の推進と、幼保小中一貫した支援体制の充実
- ・ 学校の適正配置の推進及び学校施設整備計画に基づく維持管理

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は	
				補正予算要求額	
主な事業	G1	継続	幼保小連携推進費	学校教育課	420 千円
	G1	継続	学力向上推進費	学校教育課	9,883 千円
	G1	拡大	学校図書館司書配置費 (学校図書館司書の増員)	学校教育課	8,078 千円
	G1	拡大	心の教育充実推進費(メンタルフレンドの配置替えによるスクールソーシャルワーカーの増員)	教育研究所 学校教育課	15,492 千円
	G1	継続	早期からの教育相談・支援体制構築事業費 (国・県の委託事業)	教育研究所	4,459 千円
	G1	拡大	特別支援教育充実費 (特別支援教育支援員の増員)	教育研究所	11,478 千円
	G1	継続	小中学校適正配置推進費	施設課	170 千円
	G1	新規	小学校整備事業費 伊良林小校舎等改築	施設課	36,000 千円
	G1	新規	小学校整備事業費 仁田・佐古地区小学校統合	施設課	24,300 千円
	G1	新規	小学校整備事業費 仁田・佐古地区小学校統合 (6月補正予算要求)	施設課	7,800 千円
	G1	新規	防犯カメラ整備費(小・中・高)	教委総務課	18,000 千円

重点的施策 2		<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の推進 ・平和教育の推進 ・ICT教育の推進 			
主な取組み		<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを活用した長崎ならではの国際理解教育の推進 ・被爆70周年を意識したさらなる平和教育の充実 ・ICT機器を活用したわかる授業の推進 			
主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	G1	拡大	国際理解教育推進費 (小学校英語教材の作成、配布)	学校教育課	432 千円
	G1	新規	教科書・指導書購入費(デジタル教科書)	教育研究所	67,277 千円
	G1	継続	タブレット整備事業費(小学校)	教育研究所	343,803 千円

※予算額については、記載した事業(拡大事業の場合は拡大部分)に係る額のみを記載しています。

教育委員会

重点化方針	住み慣れた地域でいきいきと元気で生きがいを持って暮らす
--------------	------------------------------------

重点的施策 1		<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすい生涯学習施設の運営 ・地域における学習機会の充実 ・科学館展示室リニューアル ・公共施設マネジメントに沿った社会教育施設の維持管理 			
主な取組み		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が、交流の場・コミュニティの場として気軽集えるための公民館施設の整備 ・地域での学習を支援するために提供できる学習メニューの充実 ・恐竜などの化石の宝庫である長崎の地層を調査研究 ・日吉青年の家での2泊3日の宿泊学習に向けて、長崎ならではの体験メニュー開発と拡充 ・公共施設マネジメントをふまえた社会教育施設の維持管理 			
主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額又は 補正予算要求額
	G2	新規	科学館施設整備事業費(科学館設備整備)	生涯学習課	20,200 千円
	G2	新規	社会教育活性化推進費(6月補正予算要求)	生涯学習課	1,900 千円
	G2	新規	プロポーザル方式による委託業務受託者選定審査会費(科学館展示室リニューアル設計)(6月補正予算要求)	生涯学習課	126 千円
	G2	継続	恐竜化石等研究調査費	生涯学習課	3,863 千円
	G2	継続	宿泊体験推進モデル事業費	日吉青年の家	1,675 千円
	G2	継続	自然体験型宿泊研修施設整備事業費((仮称)日吉自然の家)	日吉青年の家	648,000 千円
	G2	継続	自然体験型宿泊研修施設整備事業費((仮称)日吉自然の家)(6月補正予算要求)	日吉青年の家	17,300 千円
	G2	新規	市民会館施設整備事業費(市民会館施設整備)	生涯学習課	7,300 千円
	G2	新規	市民会館施設整備事業費(市民会館施設整備)(6月補正予算要求)	生涯学習課	7,400 千円
	G2	新規	市民会館施設整備事業費(市民会館設備整備)	生涯学習課	125,000 千円
	G2	拡大	公民館施設整備事業費(野母崎樺島地区公民館)	生涯学習課	47,500 千円

※予算額については、記載した事業(拡大事業の場合は拡大部分)に係る額のみを記載しています。